

1 目的

近年、SNS等を利用したインターネットに起因する犯罪に子供が巻き込まれるケースが後を絶たない状況にあることから、児童生徒に対し、携帯電話等の利用状況等に関するアンケート調査を行い、同結果を子供の健全育成及び非行防止に向けた取組に活用するもの。

2 調査対象

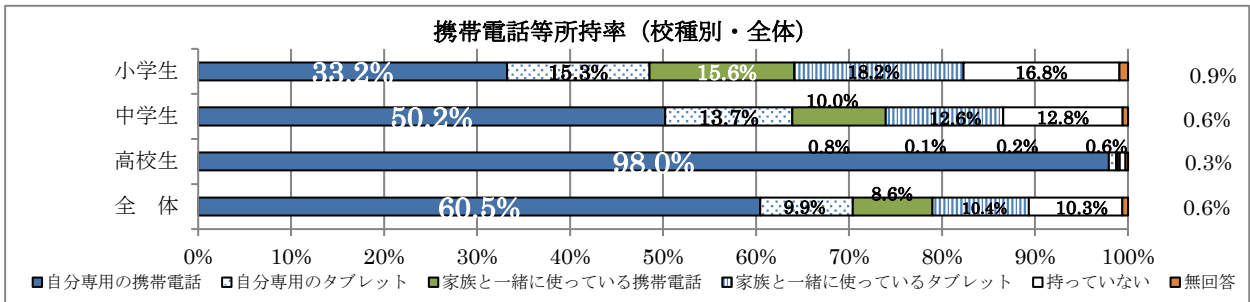
小学5年生から高校2年生の合計7,756人（うち7,602人が回答）

3 実施期間

令和2年10月7日（水）から10月16日（金）までの間

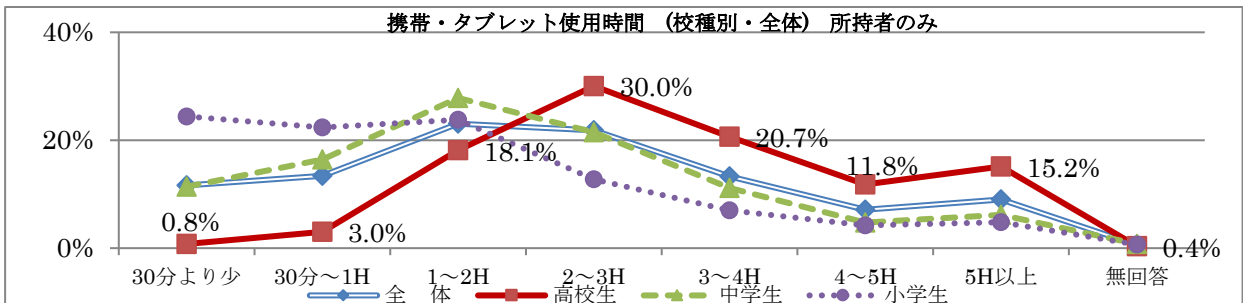
4 調査結果

(1) 携帯電話等（タブレットを含む）の所持状況 ※全員が対象



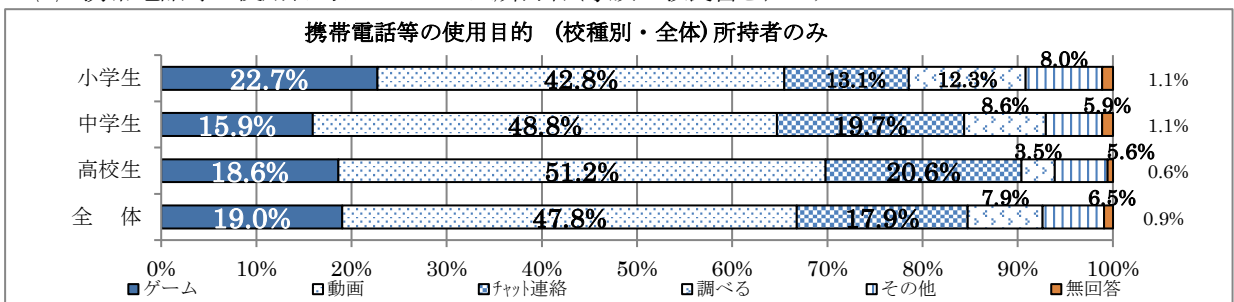
※ 高校生の大半（98.8%、前年比+0.1P）が自分専用の携帯電話等（タブレットを含む）を所持している。

(2) 携帯電話等の1日の平均使用時間について ※所持者(家族と共有含む)のみ



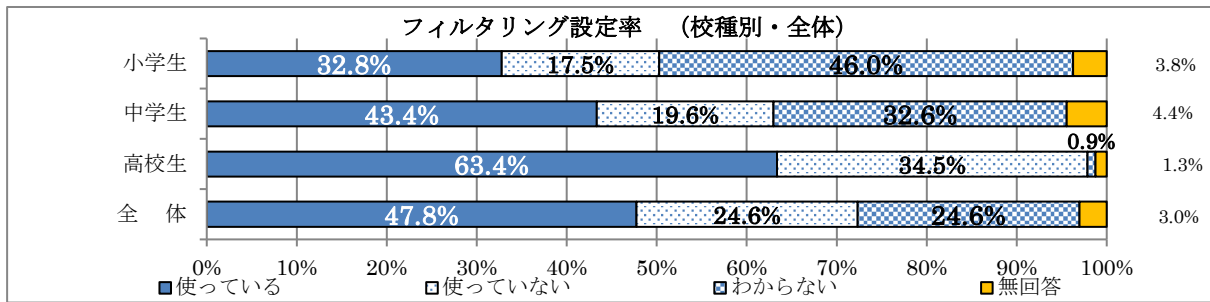
※ 3時間以上が、小学生で16.0%、中学生で22.1%、高校生で47.7%。5時間以上は高校生で15%を超えている。

(3) 携帯電話等の使用目的について ※所持者(家族と教養含む)のみ



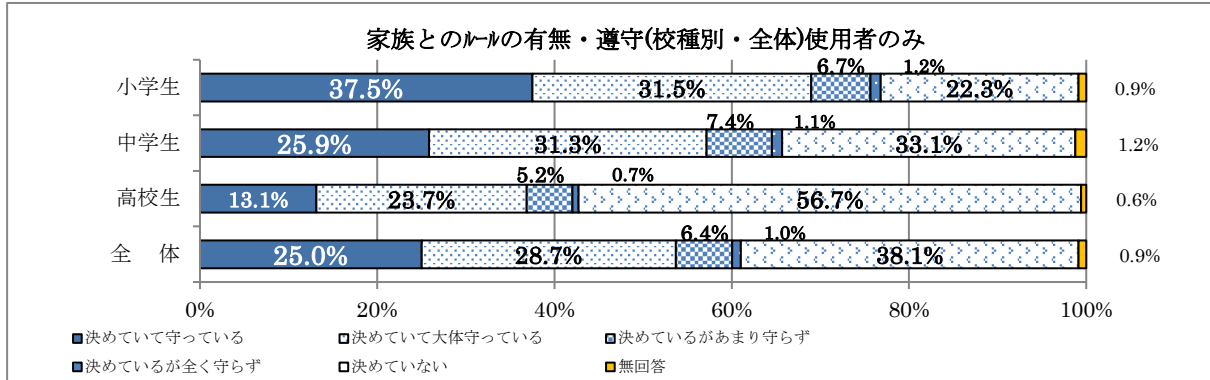
※ 最もよく使うもの1つについて調査した。全体として、ゲームが19%（前年比+2.6P）、動画視聴が47.8%（前年比+4.6P）で、動画視聴目的の使用が増加している。

(4) フィルタリング設定状況 ※自分専用の携帯電話及びタブレットの所持者が対象



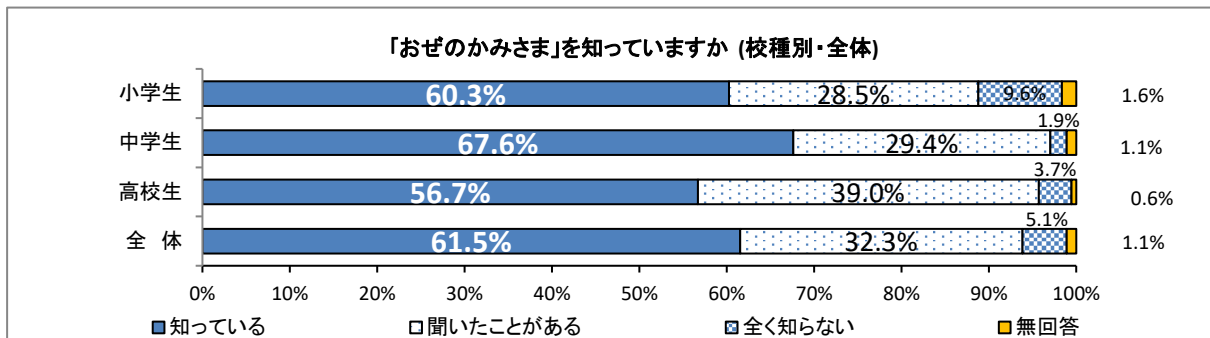
※ 設定率は全体で47.8% (前年比+8.0P) と全体の半数にとどまる。

(5) インターネット利用に係る家庭でのルールと遵守状況 ※所持者(家族と共用含む)のみ



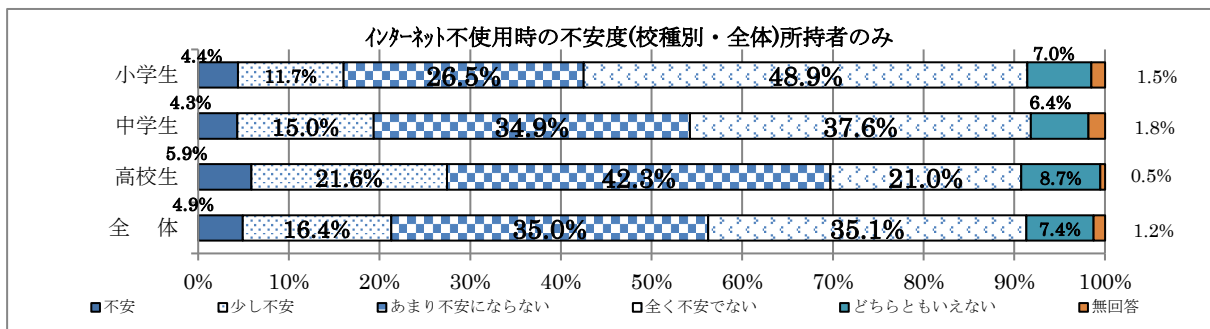
※ ルールを「決めていない」が全体の38.1% (前年比-0.7P)、「決めていないが守らない・あまり守らない」が7.4% (前年比-2.0P)。

(6) セーフティーネット標語「おぜのかみさま」の認知度 ※全員が対象



※ 「知っている」が全体の61.5% (前年比-5.6P)、「聞いたことがある」を含めると、93.8% (前年比-2.0P)。

(7) インターネット不使用時の心の不安感について ※所有者(家族と共用含む)のみ



※ 「不安」だと感じる者は全体の約5%で、「少し不安」を合わせると21.3%。概ね5人に1人は不安を感じ、高校生では27.5%。

※ 表の構成比率等については、四捨五入しているため合計の数値が100.0%にならない場合がある。